

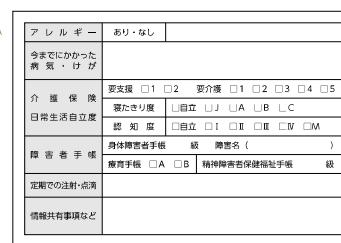
市民の皆さんからの
意見をもとにリニューアル

「お薬手帳カバー」と 「情報カード」が 新しくなりました

カバーを大きくして
出し入れしやすくな
改良しました



オモテ



ウラ

お薬手帳カバーに入れると 便利なもの

もしものときのために
情報カードに入れましょう

お薬手帳
○カード型健康保険証、診察券
○情報カード
(緊急連絡先や関わりのある医療・介護事業所など)

忍者市のおくすり帖

市では伊賀市オリジナルお薬手帳カバーを作成しています。このカバーには、ケアマネジャーの名刺や家族の連絡先を書いたメモなどを入れられるポケットがあり、裏面には相談窓口の連絡先などが記載されています。市の窓口で配布していますので、ぜひ活用ください。



ますます
進んでいます

「お薬手帳」を活用した 在宅患者へのサポート事業

～住み慣れた我が家で安心して暮らし続けるために～

皆さんが住み慣れた我が家で安心して暮らしている取り組みの一つとして、医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー・訪問リハビリ・社会福祉法人などの専門職と市が連携し、患者さんやその家族もネットワークの一員となつた、「お薬手帳を活用した在宅患者の薬の管理のしくみづくり」をすめています。

在宅で医療を受ける皆さんをサポートするため、「伊賀市オリジナルお薬手帳カバー」の配布と合わせて、患者さんの緊急連絡先や、医療や介護の事業所名、家族や専門職による気づきのメモなどが記入できる「情報カード」をお薬手帳カバーに入れる取り組みを行っています。

皆さんが住み慣れた我が家で安心して暮らしている取り組みの一つとして、医師・歯科医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネジャー・訪問リハビリ・社会福祉法人などの専門職と市が連携し、患者さんやその家族もネットワークの一員となつた、「お薬手帳を活用した在宅患者の薬の管理のしくみづくり」をすめています。

在宅で医療を受ける皆さんをサポートするため、「伊賀市オリジナルお薬手帳カバー」の配布と合わせて、患者さんの緊急連絡先や、医療や介護の事業所名、家族や専門職による気づきのメモなどが記入できる「情報カード」をお薬手帳カバーに入れる取り組みを行っています。

お薬手帳を提示しましょう！

市民の皆さんをはじめ、医療や福祉・介護に携わる専門職の皆さんなどオール伊賀市での取り組みにより、お薬手帳の1冊化がすんでいます。お薬手帳は、処方された薬の記録と合わせて、お薬手帳に記入された専門職によるアドバイスや情報カードをもとに、医療や福祉、介護の関係者が情報を共有することで、より良い支援につなげることができます。病院や診療所、薬局へ行った際にはお薬手帳を忘れずに提示しましょう。

お薬手帳は、患者さんをサポートするための大変な情報です。この取り組みをより良いものにするためにも、お薬手帳は1冊にまとめ、アレルギーや薬による変更内容などから患者さんの金体像が医師に伝わりやすくなりります。令和6年能登半島地震のようないずれか災害時にも、服用されている薬がひと目でわかると被災者への対応がスムーズになります。

お薬手帳を1冊にまとめることも大切です。お薬手帳を新しく作った場合はそれまで使っていた手帳も一緒に入れておいてください。



▲左から、伊賀医師会
清水副会長、猪木会長、紀平副会長

お薬手帳はいつも携帯

どの病院でどの薬が処方されているのか、薬の変更内容などから患者さんの金体像が医師に伝わりやすくなります。

この取り組みをより良いものにするためにも、お薬手帳は1冊にまとめ、アレルギーや薬による変更内容などから患者さんの金体像が医師に伝わりやすくなります。



問い合わせ
医療福祉政策課
☎ 22-9705 FAX 22-9673



伊賀流
お薬手帳
活用術